

近年、東京には「冬」が来なくなりました。もちろん今もまだ「冬」なのですが、これは気象庁の定義による「冬」です。最低気温が氷点下になった日を「冬日」としているからです。かといって、今は秋でも春でもないもので、やはり冬なのでしょう。いずれ「冬日」の定義を変更すべき時代がやってきそうです。

まだ1月だというのに、私の職場の構内では、もうウメが咲いていました。ここのところ気温の高い日があり日差しも豊富だったので、気の早いつぼみが開いたのでしょう。もちろんウメの木全体の100分の1も咲いておらず、数えられる程度の開花でした。しかし花の乏しいこの季節、少し早めの「早春」を感じました。

(2025年1月下旬/お茶の水女子大学構内)

